

2023 年度 個人研究実績・成果報告書

2024 年 2 月 20 日

所属	人間社会学部	職名	教授	氏名	猪熊ひろか
研究課題	ユニバーサルデザインから多様性を考える				
研究キーワード	ユニバーサルデザイン 多様性	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	11. 住み続けられるまちづくりを	該当なし	該当なし	該当なし	
1. 研究成果の概要					
(1) ユニバーサルデザインと多様性 本研究の目的は、ユニバーサルデザインを題材に多様性について考えることである。ユニバーサルデザインの特徴に基づき、多様性を考える際に、「属性の多様性」と「考え方の多様性」の二つの観点から、福祉のまちづくりの可能性について考察した。その際、多様性と「寛容のパラドックス」の相克や展開に着目し、「まちづくり」の手法がもたらす可能性について明らかにした（2. ①）。					
(2) 地域の活性化と多様性 本研究の目的は、地方空港と都市養蜂の接点としての産学連携による地域活性化における、高大連携の可能性に着目することである。産学連携と高大連携について、事例（福島 S-HART 事業）をもとに考察した（2. ④⑤）。					
2. 著書・論文・学会発表等					
【著書・論文（査読なし）】					
①猪熊ひろか，2023「ユニバーサルデザインと多様性——福祉のまちづくりの可能性」，千葉商科大学人間社会学部編『はじめての人間社会学 第2版』，中央経済社，pp.117-127.					
②猪熊ひろか，2023「地域の活動にみる『困難さ』への向き合い方」『地域社会学会ジャーナル』第11号，地域社会学会ジャーナル発行委員会，pp.27-30.					
【学会発表等】					
(書評)					
③猪熊ひろか，2023『地域社会学会年報』第35巻，地域社会学会，pp. 100-101（三井さよ，2021『ケアと支援と「社会」の発見——個の向こうにあるもの』生活書院）.					
(公開講座)					
④猪熊ひろか，「養蜂事業による福島活性化事業『福島 S-HART 事業』について」，CUC 公開講座 2023CUC 公開講座 2023 第3回（千葉商科大学丸の内サテライトキャンパス），2023年7月.					
(研究会報告)					
⑤吉竹弘行・猪熊ひろか・小野塚彩・元島智樹・黒澤このみ・國分美里「都市養蜂事業による地方空港活性化手法の試行的研究——福島 S-HART 事業」，シニア社会学会社会保障研究会第153回（オンライン開催），2023					

年9月.

3. 主な経費

研究を進めるために必要な関連書籍・OA 関連機器・学会費、調査のために必要な交通費など。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

特になし。

(本文は2ページ以内にまとめること)